

製品名: Cdc5L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08527**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CDC5L |
| 別名 | CDC5L; KIAA0432; PCDC5RP; Cell division cycle 5-like protein; Cdc5-like protein; Pombe cdc5-related protein |
| 遺伝子 ID | 988.0 |
| SwissProt ID | Q99459 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト CDC5L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 721-770 |

背景

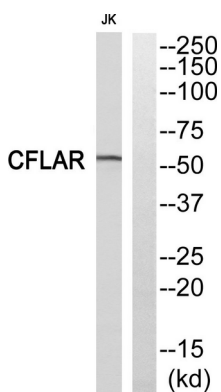
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞周期 G2/M 期移行に重要な細胞周期調節因子である Schizosaccharomyces

pombe cdc5 遺伝子産物と高い類似性を示す。このタンパク質は、細胞周期 G2/M 期進行の正の調節因子として作用することが実証されている。また、このタンパク質は、少なくとも 5 つの追加タンパク質因子を含み、pre-mRNA スプライシングの第二段階の触媒に必須である非 snRNA スプライソソームの必須構成要素であることも明らかになった。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: 多嚢胞性腎異形成症において CDC5L に関連する染色体異常が認められる。USF2 との転座 t(6;19)(p21;q13.1)。機能: 細胞周期制御に關与する DNA 結合タンパク質。転写活性化因子として作用する可能性がある。また、pre-mRNA スプライシングの 2 番目の触媒ステップにも關与していると思われる。、PTM:リン酸化されており、PPP1R8 との相互作用を強化します。、類似性:CEF1 ファミリーに属します。、類似性:2 つの HTH myb 型 DNA 結合ドメインを含みます。、細胞内局在:細胞質と核の間をシャトルする場合があります。、サブユニット:ホモ二量体。DAPK3 と相互作用します (類似性による)。DNA に結合します。ATP 刺激様式でアデノ pre-mRNA に結合します。スプライソソーム複合体に属します。CDC5L、PLRG1、SPF27、CCAP1、CCAP3、および CCAP6 からなるスプライソソーム「コア」複合体の一部です。PLRG1、Lodestar/TTF2、および NIPP1/PPP1R8 と相互作用します。スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも AQR、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A から構成されています。RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPB200、SNRPB40、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、XAB2、および ZCCHC8。、組織特異性:胎児組織と成人組織の両方で普遍的に発現します。、

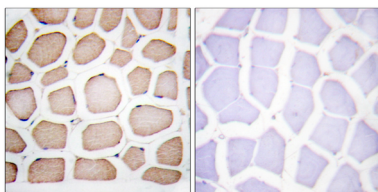
研究分野

スプライソソーム;

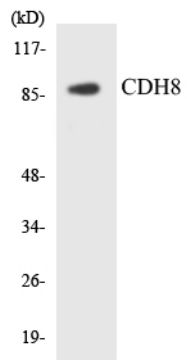
画像データ



CDC5L 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが CDC5L ペプチドでブロックされています。



CDC5L 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト平滑筋の免疫組織化学染色。右レーンが CDC5L ペプチドでブロッキングされている。



CDH8 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。